



## 新型コロナウイルス感染症情報

新型コロナ感染症による影響は、まだまだ大変な状況が続いています。今後も引きつづき重症化予防に注意が必要です。

今回、神奈川県内の新型コロナウイルス感染症による入院患者の基礎疾患調査の結果をご報告します。



1位 高血圧 2位 脂質異常症 3位 糖尿病となっています。

## 新型コロナウイルス感染症入院患者の基礎疾患調べ(神奈川県)上位10疾患

順位	基礎疾患名	有病割合
1位	高血圧	58.7%
2位	脂質異常症(高脂血症、高コレステロール血症など)	53.3%
3位	糖尿病Ⅱ型	43.5%
4位	虚血性心疾患(陳旧性心筋梗塞、狭心症など)	21.7%
5位	気管支喘息	18.5%
6位	脳出血(脳内出血、脳梗塞など)	14.1%
7位	慢性閉塞性肺疾患(COPD)(肺気腫、慢性気管支炎など)	13.0%
8位	心不全(慢性心不全、うっ血性心不全)	10.9%
9位	脂肪肝	8.7%
10位	動脈硬化症(動脈硬化症、アテローム硬化)	8.7%

上記の疾患いずれかに罹患している割合が87%と高い割合となっています。

## その他の新型コロナ感染症重症化リスク因子

- ・65歳以上の高齢者
- ・肥満(BMI30以上)
- ・慢性腎臓病

\*建設国保では年間約100名の方が慢性腎臓病等で人工透析治療を受けています。



## 重症化予防のポイント👉

生活習慣病の予防が重症化予防のカギになります。感染症対策とあわせて、食事や運動など健康管理をしっかり行っていきましょう。また、現在、治療中の方は受診を継続し、健康状態の維持、改善をしていきましょう。